

6 ケータイ・ネットについて

携帯電話・スマートフォンやパソコンは、コミュニケーションの道具として、また、インターネットに接続して日常生活に必要な様々な情報を得るものとして、大人だけでなく、子どもたちの生活においても深く関わりのあるものとなってきています。

その一方で、様々なネットいじめやネット犯罪が起き、子どもが巻き込まれるケースが増加しています。また、子どもが被害者だけでなく加害者になるケースも出ています。



・携帯電話の利用率

小学生 5.4%
中学生 2.8%
高校生 1.0%

・スマートフォンの利用률

小学生 23.0%
中学生 54.6%
高校生 94.1%

【内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査（2017）」】

・SNS やブログ、ゲームサイトなどのコミュニティサイト（出会い系サイトを除く）を利用して犯罪被害にあった子どもの数は、1,736人。

【警察庁「平成28年度出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状」】

コミュニティサイトで被害にあった子どもの内訳

小学生・保護者 2.5%
中学生・保護者 37.7%
高校生・保護者 51.0%

【平成29年度版総務省インターネットトラブル事例集】

フィルタリングを使っていると回答した

小学生・保護者 27.2%
中学生・保護者 47.4%
高校生・保護者 45.8%

【内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査（2017）」】

ネット社会と中学生



※実際に起きたトラブルです

なりすまし投稿によるひぼう中傷

◆他人になりすまして書き込んで

△校のC君は、○校のD君がどうも気に入らず、D君になりすまし、ネットに「○校のE君が万引きをしている」と、ウソの書き込みをしました。

◆書き込んだ本人が特定された

E君がD君を問い詰めると、D君は書き込んでないことが分かりました。調べると、△校のC君の仕業だと判明。学校間トラブルに発展しました。



◇考えてみよう

誰かになりすますことも、誰かを陥れるような書き込みをすることも、違反行為です。

万が一、こういったトラブルに気づいたとき、できることはありますか？

A：やるという子がいたら B：被害に遭った子がいたら C：こんな投稿を見かけたら

【平成29年度版 総務省インターネットトラブル事例集】

1 ケータイ・ネット等は、「光と影」があるとされています。良い面（助かっている点）、悪い面（困っている点）、それぞれについて考えてみましょう。

良い面

悪い面

2 ケータイなどについて、親としてどのようなことに注意したらいいのでしょうか。

3 話し合いの中で気づいたこと、参考になったことを書きましょう。

POINT

子どもたちがケータイやパソコンを介してインターネットを利用し、トラブル・犯罪に巻き込まれる事件が増加し、子どもの心身への影響が懸念されています。

携帯電話等は大変便利なものであるとともに、非常に「危険性」をはらんだものです。家庭では、その「危険性」を教え、ケータイやネット利用のルール、マナーについて十分に話し合うことが大切です。また、苦手な分野だからと敬遠せず、保護者が進んで新しい知識を身につけるように努めることも大切です。